

宝達志水で電力小売り

いしかわグリーンパワー 北電エリアで初

町有施設に供給

自由化の波押し寄せる

石川県宝達志水町で、一部で自由化された木質バイオマス発電施設を運営する「いしかわグリーンパワー」は、参入するのは初めて。来年3月、宝達志水町で電力の小売りを始める。2000年に小売業施設向けにも供給先

を拡大したい考えで、北電に自由化の波が押し寄せてきた格好だ。いしかわグリーンパワーが小売りするのは工場やビルなどで使われる高圧電力。同社や宝達志水町によると、同町の下水処理場や水

道施設などに電力を供給する方向で調整しており、ほぼ合意しているという。町有施設の最初の供給先は10カ所前後とみられる。需要規模は数千キロワットになる見込み。いしかわグリーンパ

異物混入が原因

志賀1号機の手動停止

点検を完了

北陸電力は20日、制御棒の挿入、引き抜きを制御する装置内の弁、直径約0.2ミリの金属製のごみのような異物が見つかった。北電によると、異物

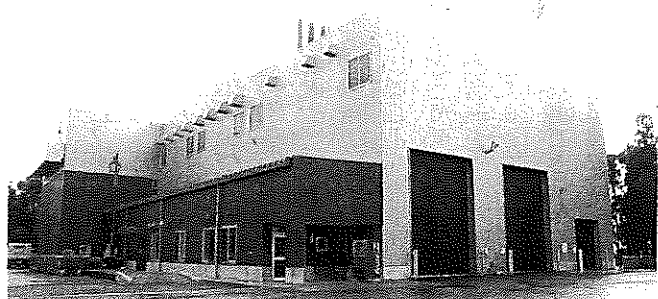
が混入していたのは北電は異物混入によって弁が完全に閉じた状態にならず、駆動水が流れて制御棒が想定以上に引き抜けたとみられている。異物は今年6月9月に実施された定期検査で装置内のフィルター取り付け時に混入し、外部から持ち込まれた可能性が高いという。

装置内にはほかの微細な異物も一つ確認されたが、今回のトラブルと関係なかった。北電は異物の混入防止対策として、靴の裏に付いたごみが持ち込まれないように作業エリアの出入り口に粘着マットを設置し、作業エリア上部をシートで保護するなどの措置を取る。

北陸経済

自 鏡でめつくり成長軌道を描いていきたい。

下振れした。新興国市場の拡大によって景況



宝達志水町で電力の小売りを始めるいしかわグリーンパワー

同町

わグリーンパワーの小売り開始について、北電は「コメントできない」としている。

いしかわグリーンパワーは日本バイオマス開発(東京)の子会社。宝達志水町の木質バイオマス発電施設は木材チップに熱を加えてガスを発生させ、発電する仕組みで、2008年に完成している。

形に進めたい」として、関係者によると、電力会社以外の事業者による小売りは、ほかの地域では既に実施されているという。いしか

会社。宝達志水町の木質バイオマス発電施設は木材チップに熱を加えてガスを発生させ、発電する仕組みで、2008年に完成している。

事業子会社の吸収合併決議

トナミHD

トナミホールディングス(HD、高岡市)は20日の取締役会で、

トナミHDの100%子会社で、合併は来

百貨店

中部

中部経済産業局電力前20日発表した10月指標を中心とした北陸地域の総合経済動向は、個人消費の分野で百貨店の販売額が2年7カ月ぶりに前年実績を上回った。秋冬物の衣料などに動きがみられた。ただ、10月のスーパー販売は前年割れし、個人消費全体としては前月よりやや低下。生産は横ばいの判断で、全体では「持ち直しの動きが弱まっている」で据え置かれた。鉱工業生産指数は、

年4月1日。同様に、関東トナミ運輸(さいたま市)による埼玉トナミ運輸(同)の吸収合併、福井トナミ運輸(敦賀市)による河合運送(滋賀県大